

第8回月測位研究会

JAXA 東京事務所(お茶の水) HYBLID

2024年7月24日



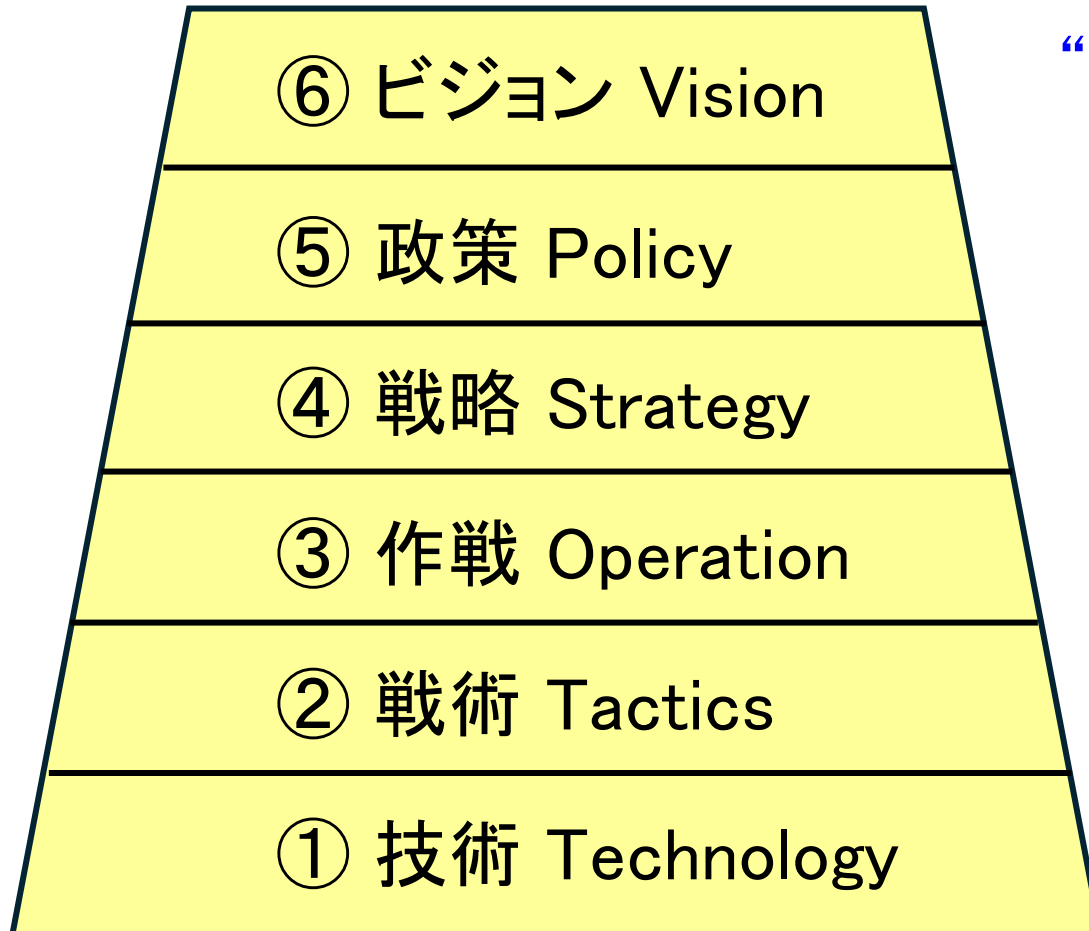
Ending Remarks

月地球圏の衛星測位システムと ルール形成方略

一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構
衛星測位事業本部 利用開拓部長
博士(工学) 浅里 幸起

階層的な戦略思考

日本業界の議論は「①技術」に偏ることが多い。上位段階の思考が必要との指摘あり。



“日本の国際プレゼンスを向上させる” (2024)
国際社会において名誉ある地位を (1945)

この階層の議論が必要

技術は大事。だが、議論が偏りすぎでは。

背景

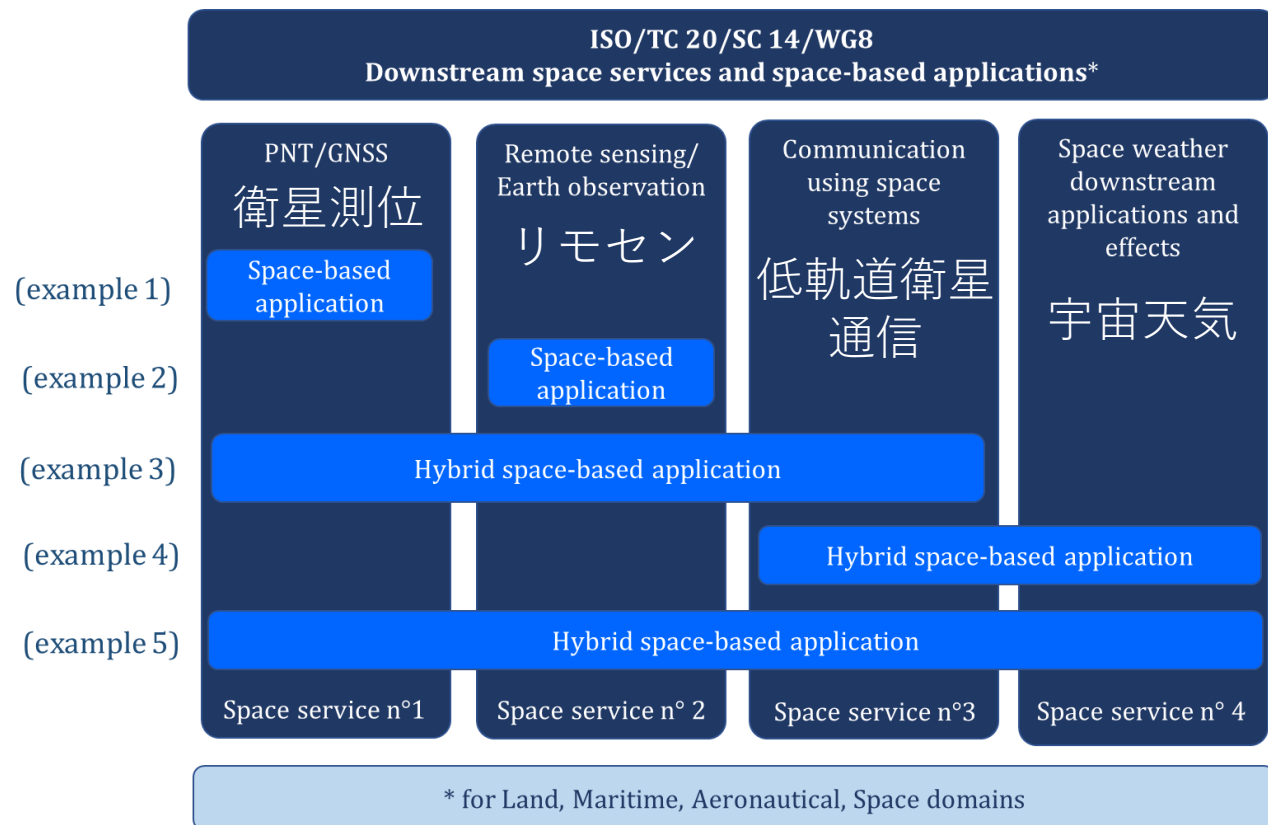
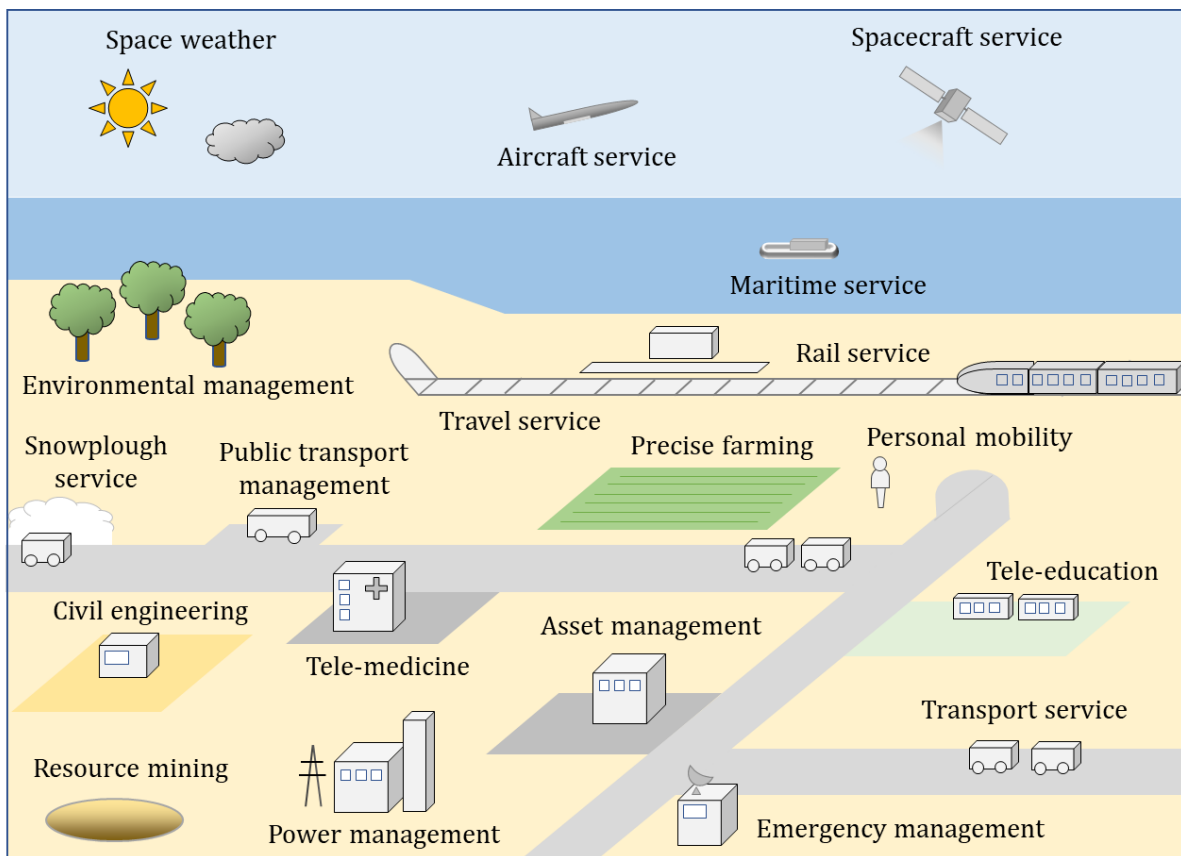


- SBIC 標準化WG 11年目
 - 宇宙利用ユーザープラットフォーム：関係機関と協力
 - ISO/TC 20/SC 14/WG8「宇宙利用サービス」から展開
- 政府方針：宇宙産業について2030年初頭までに市場倍増
「宇宙利用サービス」は最大市場セグメント
- 宇宙戦略基金 10年間で1兆円
- 拡大する防衛分野, 経済安全保障分野
- オンライン会議の定着と国内外連携促進

ISO/TC 20/SC 14/WG8 「宇宙利用サービス」

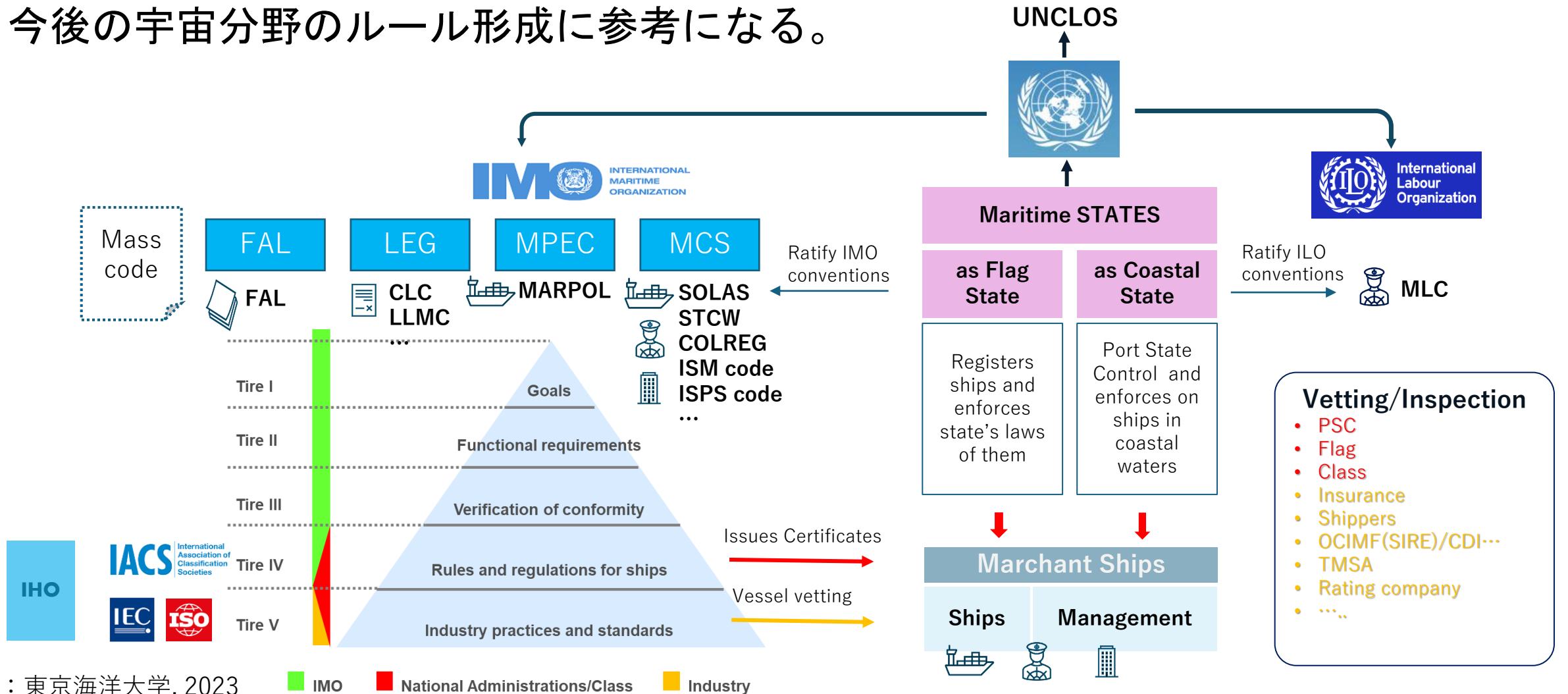


- Downstream Space Services and Space-based Applications
- 衛星測位, リモセン, 低軌道衛星通信, 宇宙天気が4つの柱
- 2024年5月、月や火星の地上サービスを含むと、フランス部会長が発表
- 日本提案「基準座標系のWTO根拠付け」「平面座標系」



海洋分野に学ぶ宇宙分野のルール形成

英米戦略学に基づく国際ルール形成により海洋分野のルールが作られた。
 今後の宇宙分野のルール形成に参考になる。



英米戦略学に基づく海洋空間の管理

輸送のチョークポイントを押さえることで、世界の海洋空間が管理される。



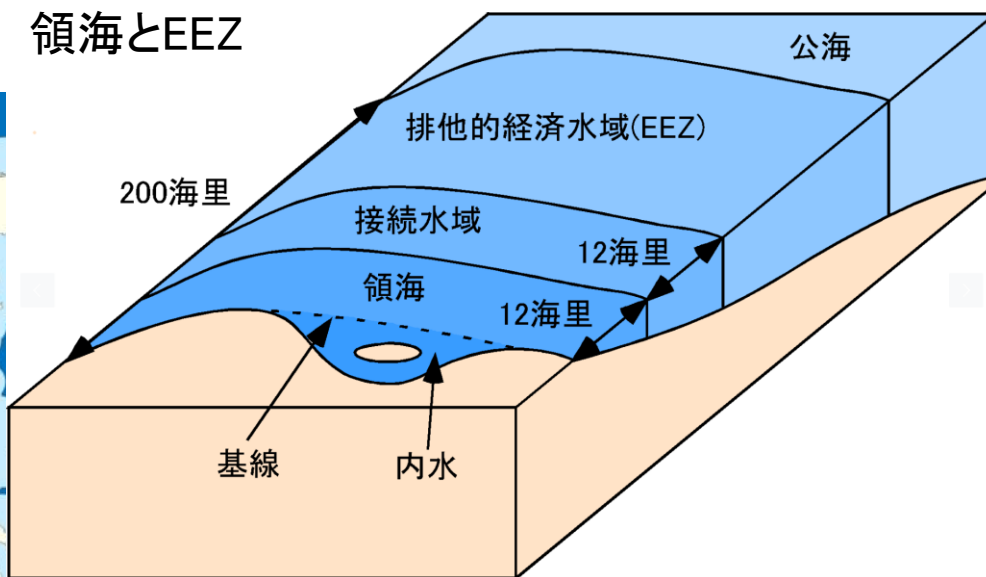
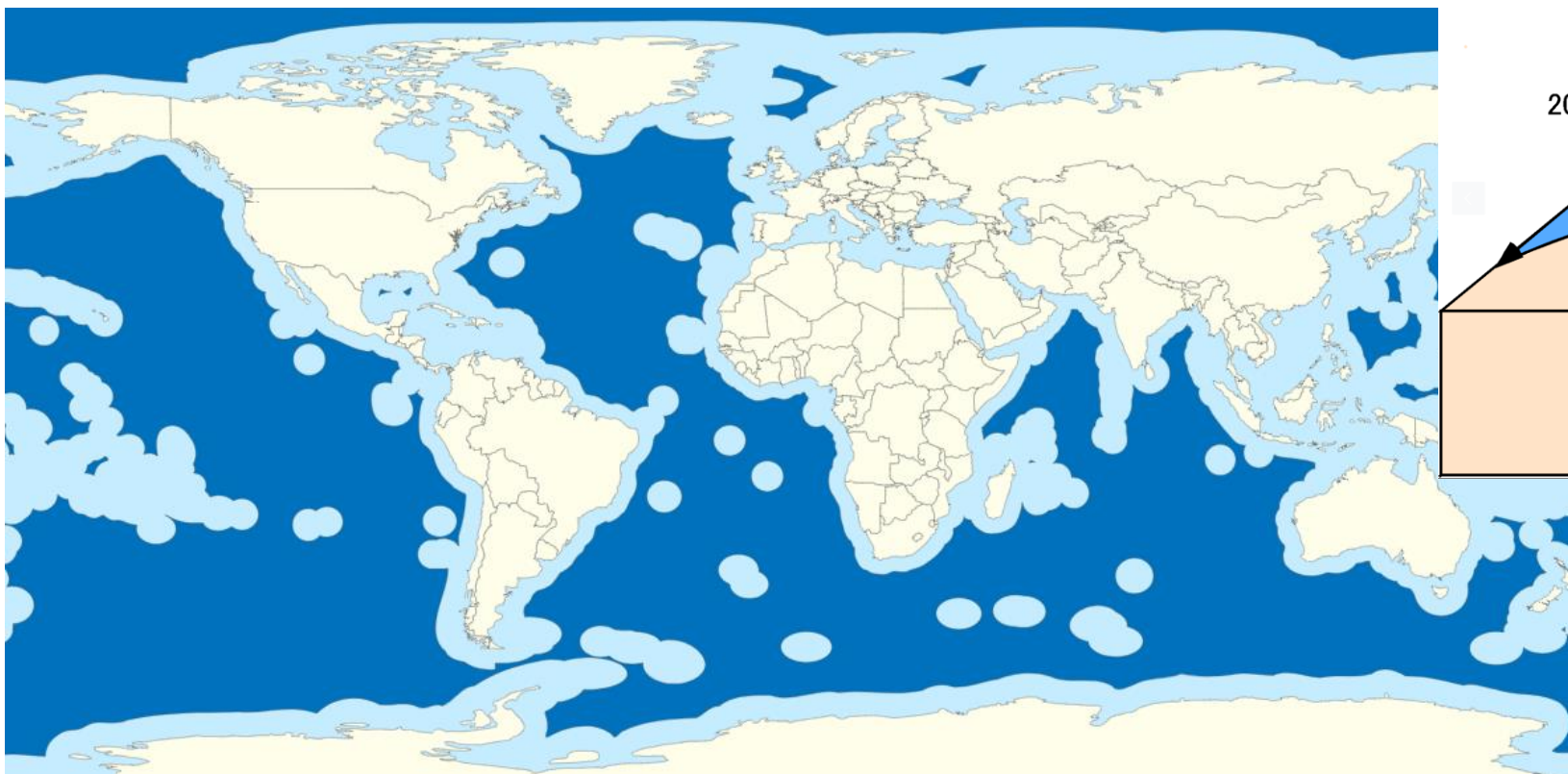
航路画像の出典：商船三井, ウェブサイト, 2022

国連海洋法条約 UNCLOS (1958初開催～1982採択)



領海は狭く、航行の自由(Freedom of Navigation)を確保。広い排他的経済水域。
測位航法技術で可能なことを基礎にしてルール形成されたともいえる。

薄青部: 排他的経済水域 (EEZ)



宇宙へのチョークパス～低軌道そして月

月測位研究会では、低軌道衛星による測位航法、地球から月までの測位を研究しています。これらは、宇宙開発において重要となる“チョークパス”となる可能性があり、これらの空間における測位航法技術とその戦略を取り扱います。

